

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの誘致・開催
主な取組	スポーツコンベンション誘致戦略推進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	<p>・本計画におけるスポーツコンベンションとは、スポーツに関係する合宿、キャンプ、自主トレ、大会、イベント等の総称です。スポーツコンベンションの推進は、沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」や、長期滞在傾向等による経済効果の増大に寄与することから、市町村やスポーツコミッション沖縄等と連携し、各種スポーツキャンプ、合宿やスポーツイベント、競技大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国際大会誘致やアジア等で開催される大会の事前合宿を視野にスポーツコンベンションの誘致を進めるため、受入市町村と連携し、スポーツキーパーソンの招聘や合宿実証に取り組む。	県,市町村,スポーツコミッション沖縄	スポーツコンベンションの誘致		
		スポーツ団体合宿実証件数(累計)		
		10件	10件(20件)	10件(30件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業			予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	57,599	50,838	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	60,152
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
スポーツコンベンション誘致広報活動にあわせ、スポーツキーパーソン招聘3件およびスポーツ団体合宿実証13件を行った。				スポーツコンベンション誘致広報活動にあわせ、スポーツキーパーソン招聘6件およびスポーツ団体合宿実証8件を行う。		

活動指標名	スポーツ団体合宿実証件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	5件	9件	13件 (22件)	10件 (20件)	100.0%	順調	スポーツキーパーソン招聘やスポーツ団体合宿実証を通して、合宿実施における課題を検証し、合宿受入体制の強化を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

直前で中止となった合宿が2件あったが、順調に実施できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 離島における合宿実施、女性スポーツ、障害者スポーツ、競技人口増が予想されるアーバンスポーツ等の合宿実証を積極的に進め、課題検証を通して誘致拡大を図る。</li> <li>○ 海外チームの誘致や、医療やウェルネスとも連携したメンタルおよびフィジカルリカバリー等、サポート体制構築による沖縄ならではの強みを活かし、「スポーツアイランド沖縄」の形成に寄与する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 離島における海外チームの合宿実証、女性スポーツおよび障害者スポーツの合宿実証を通して課題を検証し、次年度以降の継続実施に向けた体制強化を図った。</li> <li>○ アーバンスポーツの合宿誘致、医療やウェルネスと連携したメンタルおよびフィジカルリカバリーの体制構築はできなかった。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	アーバンスポーツの合宿誘致、医療やウェルネスと連携したメンタルおよびフィジカルリカバリーの体制構築が進んでいないため、受入市町村や関係機関と課題の検証や条件整理が必要である。	⑧ その他	受入市町村や関係機関との意見交換を重ね、アーバンスポーツの合宿誘致、医療やウェルネスと連携したメンタルおよびフィジカルリカバリーの体制構築を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの誘致・開催
主な取組	スポーツ観光戦略的誘客促進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	<p>・本計画におけるスポーツコンベンションとは、スポーツに関係する合宿、キャンプ、自主トレ、大会、イベント等の総称です。スポーツコンベンションの推進は、沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」や、長期滞在傾向等による経済効果の増大に寄与することから、市町村やスポーツコミッション沖縄等と連携し、各種スポーツキャンプ、合宿やスポーツイベント、競技大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県外、海外からのスポーツ観光誘客を促進するため、設定した重点ターゲット層に対してプロモーション活動を実施するとともに、スポーツ観光として来県した観光客の受け入れニーズを把握し、消費単価拡大等に向けた取組みを戦略的に実施する。</p>	県	重点ターゲット設定、戦略的プロモーション	戦略的プロモーション	
		スポーツ観光プロモーション件数(累計)		
		26件	30件(56件)	30件(86件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名		スポーツ観光戦略的誘客促進事業			予算事業名		スポーツ観光戦略的誘客促進事業
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	54,741	65,603		一括交付金 (ソフト)	委託	50,358
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
<p>スポーツ観光誘客を推進するため、マラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展など沖縄へのスポーツ旅行に係るプロモーションを行った。</p>				<p>スポーツ観光誘客を推進するため、マラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展など沖縄へのスポーツ旅行に係るプロモーションを行う。</p>			
活動指標名	スポーツ観光プロモーション件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	53件	57件	52件 (109件)	30件 (56件)	100.0%	順調	テレビ、雑誌、Web等のメディア、スポーツチームを活用したプロモーションの実施とともに、ランニング、サイクリングコースの紹介やゴルフ場の情報等、通年で楽しめるスポーツ環境のプロモーションを展開した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標を上回る52件のプロモーションを実施し、スポーツを通じた観光誘客の推進を図ることができた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本県の魅力がより活かせる地域（アジア、内陸県など）、種目（ランニング、サイクリング、ゴルフ、空手など）、客層（富裕層、スポーツ愛好家、トップアスリートなど）に対するプロモーションを推進する。</li> <li>○ 令和5年度においては、令和5年8月に開催されるFIBAバスケットボールワールドカップ2023を活用したプロモーションを実施する。</li> <li>○ スポーツツーリズムの実態を調査するとともに、プロモーションのターゲットを選定し、消費単価拡大、長期滞在に向けた取組を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年度は、種目としては、本県の実態（冬でも温暖な気候等）を活かせるマラソン、サイクリング、ゴルフ等、地域としては、サイクリングの先進地である台湾等、客層としては、スポーツツーリズムの裾野を拡大するためスポーツへの関心はあまり高くないが旅行への関心が高い層へのアプローチに取り組んだ。</li> <li>○ FIBAバスケットボールワールドカップ2023に向けたプロモーションを実施し、10日間（全20試合）で約12万5千人が観戦した。</li> <li>○ 大会主催者へのヒアリング、試合観戦などの「観るスポーツ」や大会出場等の「するスポーツ」などについて、実態を調査した。結果を分析し、消費単価拡大、長期滞在に向けた令和6年度のプロモーションを検討する。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	スポーツツーリズムの推進にあたっては、本県の自然的特性や地理的特性を活かし、本県の魅力がより活かせる地域、種目、客層等を引き続き見直し、効果的にプロモーションを実施する必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	コンテンツ制作やプロモーションの実施にあたっては、地域プロスポーツチームや県内で開催される大会等を効果的に活用する必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄観光の課題である消費単価の向上、滞在日数の長期化に寄与するスポーツツーリズムの推進に取り組む必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	本県の魅力がより活かせる地域（アジア、内陸県など）、種目（ランニング、サイクリング、ゴルフ、空手など）、客層（スポーツ愛好家、旅行愛好家、富裕層など）に対するプロモーションを推進する。
② 連携の強化・改善	地域プロスポーツチームや県内で開催されるマラソン大会等との連携を強化し、観客数や参加者数の増加に資するようプロモーションを推進する。
⑦ 取組の時期・対象の改善	スポーツツーリズムの実態調査を継続し、消費単価拡大、長期滞在に資するスポーツツーリズムのプロモーションを推進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツツーリズム等の促進
主な取組	プロ野球キャンプ等訪問観光促進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	<p>・本県の魅力的なスポーツ環境のプロモーションを積極的に展開し、地元プロスポーツチーム等を活用したイベント、キャンプ地訪問観光、各種アウトドアスポーツ・アクティビティ等を目的とするスポーツツーリズムや県民と観光客が一体となって楽しめる‘スポーツ・健康×観光’といった沖縄のソフトパワーを活用した高付加価値コンテンツの開発を促進するとともに、各競技のニーズに対応する施設・設備等の整備や医療機関、リハビリ、コンディショニング施設等との連携を進めたスポーツ医・科学拠点形成等の環境整備に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
プロ野球キャンプを目的とした来訪者の増加を図るためのプロモーション、情報発信、機運醸成等受入市町村と連携した取組等を実施する。	県,市町村	プロ野球キャンプ開催地としてのブランド化の確立、プロ野球キャンプ期間中の来訪者の増加及び経済効果の拡大		
		プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客数(累計)		
		88,700人	88,700人(177,400人)	88,700人(266,100人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	<a href="https://www.okinawabaseball.jp/">https://www.okinawabaseball.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業				予算事業名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	委託	30,623	31,851		一括交付金 (ハード)	委託	28,744	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
プロ野球キャンプを目的とした来訪者の増加を図るためのプロモーション、情報発信、機運醸成等受入市町村と連携した取組等を実施した。					プロ野球キャンプを目的とした来訪者の増加を図るためのプロモーション、情報発信、機運醸成等受入市町村と連携した取組等を実施する。			
活動指標名	プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B			
	9,000人	49,000人	49,000人 (R4年度)	88,700人 (177,400人)	55.2%	大幅遅れ	アジアプロ野球チャンピオンシップ2023を活用したプロモーション、Webサイトやガイドブック等の配布による情報発信、県内ラジオを活用した受入市町村の現地情報の発信等の取組等を実施した。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和5年度実績は経済波及効果等と合わせて令和6年8月頃公表予定となっているため、直近(令和4年度)の実績と比較したところ、達成割合は55.2%となるが、令和5年度のプロ野球キャンプが実施された月(令和6年2月)の入域観光客数は、前年同月比20.3%増の71万9,200人となっており、これはコロナ禍前の平成31年2月も上回っていることから、令和5年度の進捗状況は順調と見込んでいる。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>キャンプに訪問する観光客がコロナ禍前の人数に徐々に戻ってきているため、これまで以上に受入市町村との連携を強化しながら全県的にプロ野球キャンプの機運醸成を高めていけるよう取組を推進する。</p>	<p>受入市町村との連携強化の取組みとして、県内ラジオを活用した取組みを実施した。具体的には、受入市町村の担当者による現地情報を発信し、沖縄に興味関心の高い県外リスナーに向けたPRを実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>期間中の経済波及効果を高めるためには、一つのキャンプ地のみではなく、より多くのキャンプ地や観光地を周遊し消費を促すことが必要である。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	<p>県内受入全市町村で経済波及効果が高まるよう、プロ野球キャンプ観戦のために訪れた観光客を周遊させる取組みを強化する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツツーリズム等の促進
主な取組	サッカーキャンプ誘致戦略推進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	<p>・本県の魅力的なスポーツ環境のプロモーションを積極的に展開し、地元プロスポーツチーム等を活用したイベント、キャンプ地訪問観光、各種アウトドアスポーツ・アクティビティ等を目的とするスポーツツーリズムや県民と観光客が一体となって楽しめる‘スポーツ・健康×観光’といった沖縄のソフトパワーを活用した高付加価値コンテンツの開発を促進するとともに、各競技のニーズに対応する施設・設備等の整備や医療機関、リハビリ、コンディショニング施設等との連携を進めたスポーツ医・科学拠点形成等の環境整備に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
サッカーキャンプの誘致を推進し、市町村およびキャンプ実施チーム等との連携強化、キャンプを目的とした観光客の増加および経済効果の向上・地域活性化を図ることで、サッカーキャンプ地としてのブランド化を図る	県	サッカーキャンプを目的とした観光客の増加及び経済効果の向上		
		プロサッカーキャンプを目的とした県外観光客数(累計)		
		17,185人	17,185人(34,370人)	17,185人(51,555人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	<a href="https://soccer-camp.okinawa/">https://soccer-camp.okinawa/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業			予算事業名	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	52,276	49,748	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	44,772
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等を行った。				サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等を行う。		

活動指標名	プロサッカーキャンプを目的とした県外観光客数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0人	7,030人	6,188人 (13,218人)	17,185人 (34,370人)	36.0%	大幅遅れ	県内クラブ訪問等の誘致活動やキャンプ受入市町村の芝環境を整備したこと等によりキャンプ実施クラブの拡大を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

昨年度より842人減少しており、進捗状況は大幅遅れとなっている。要因のひとつとして、チームの意向により、トレーニングやトレーニングマッチ（練習試合）の非公開日程が増加傾向にあるため、サッカーキャンプを観戦する機会が減少していることがあげられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
ガイドブック作成に加え、WebサイトやSNSを活用した情報発信の強化、さらには受入市町村やクラブとの連携強化による効果的な情報発信によりサッカーファンの関心を集め、観光客数の増加を図る。	ガイドブックの増刷や大型商業施設を活用したPRイベントの実施により、情報発信を強化しているが、サッカーキャンプを目的とした県外からの観光客が伸び悩んでいる。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	サッカーキャンプを目的とした県外観光客数の増加を図るため、トレーニングおよびトレーニングマッチの非公開日程の減少に向けた検討を行う必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	非公開日程について、キャンプ実施クラブや受入市町村から事情を確認し、トレーニングおよびトレーニングマッチの非公開日程の減少に向け手法を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○J1規格スタジアムの整備やスポーツ交流受入拠点の充実
主な取組	J1規格スタジアムの整備		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・スポーツコンベンションの核となるJ1規格スタジアムの整備、地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実や老朽化・耐震化対策等を推進するとともに、スポーツ交流の受入拠点の充実に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県のスポーツ及び観光振興に寄与するJリーグ規格のサッカースタジアムの整備に向けて取り組む。	県	整備事業の推進		
		着手に向けた条件整理		
		条件整理	条件整理	条件整理
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/kencho/1000011/1017729/1017736.html">https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/kencho/1000011/1017729/1017736.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	サッカースタジアム整備等推進事業			予算事業名	サッカースタジアム整備等推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	20,391	20,619	県単等	委託	27,095
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
現整備計画等を踏まえ、スタジアムの規模や構造、複合機能について実現性の高い手法を検討するとともに、PFI手法による整備について調査を行った。				令和5年度の検討調査を踏まえ、法手続きを進める上で必要な資料として、概略設計、イメージパース等の作成を行うとともに、運営収支の精緻化を図る。		

活動指標名	着手に向けた条件整理		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		調査実施	調査実施	条件整理	条件整理	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

- ・スタジアムの規模や構造、複合機能について実現性の高い手法の検討として、Jリーグスタジアム基準に沿った段階整備の比較を進めた。
- ・PFI手法による整備の検討として、有識者ヒアリングや民間事業者サウンディングを実施し、事業範囲と事業手法の検討を進めた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○Jリーグスタジアム基準に沿った段階整備の可能性の検証や、PFI手法の導入等に係る調査を行い、実現性の高い整備の方向性について検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実現性の高い手法の検討として、スタジアムの段階整備におけるライフサイクルコストの試算を行い、当初整備計画よりも段階整備の方がコスト的に優位であることが確認された。</li> <li>・有識者ヒアリングや民間事業者サウンディングを通して、事業スキームのパターンと事業範囲を整理し、優先する対象事業範囲と発注方式手法を進めた。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和5年度の検討結果を踏まえ、スタジアムの段階整備を前提とした法手続きのため、関係者との事前調整を進める必要がある。	⑧ その他	法手続きを進める上で必要となる資料として、概略設計、イメージパース等の作成を行うとともに、運営収支の精緻化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○J1規格スタジアムの整備やスポーツ交流受入拠点の充実
主な取組	スポーツコミッション沖縄体制整備		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・スポーツコンベンションの核となるJ1規格スタジアムの整備、地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実や老朽化・耐震化対策等を推進するとともに、スポーツ交流の受入拠点の充実に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スポーツを目的とした来訪者の利便性向上のため、各種スポーツ合宿等の誘致・受入を行うワンストップ窓口としてスポーツコミッション沖縄を設置し、スポーツアイランド沖縄の認知度向上と誘客拡充を図る。	県,スポーツコミッション沖縄	県外・海外スポーツ団体と県内競技団体・市町村のマッチング		
		競技連盟(各国代表クラス)の合宿件数(累計)		
		31件	31件(62件)	31件(93件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツコミッション沖縄体制整備事業			予算事業名	スポーツコミッション沖縄体制整備事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	補助	30,000	30,000	一括交付金 (ソフト)	補助	27,000
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
沖縄県スポーツ協会に設置している「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施した。				沖縄県スポーツ協会に設置している「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施する。		

活動指標名	競技連盟（各国代表クラス）の 合宿件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	20件	33件	29件 (62件)	31件 (62件)	93.5%	順調	各種スポーツキャンプ等の誘致・受入を行う際のワンストップ窓口として、スポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、行動制限は解除され、合宿件数は順調に推移している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共スポーツ施設改善アドバイザー派遣により、他地域の好事例等を参考にしながら県内スポーツ環境を改善する。</li> <li>○ スポーツイベントへの出展やキーパーソン招聘など県内市町村を巻き込んだ取り組みにより県内スポーツ環境について周知を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共スポーツ施設設備改善アドバイザー派遣を9件実施し、県内スポーツ環境の改善を図った。</li> <li>○ スポーツイベントへの出展を5件実施し、県内スポーツ環境等の周知を図った。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	例年冬季(1月~3月)期間中はあらゆる競技の合宿が県内各地で開催されているが、年間を通じた合宿実施の実現に向けて取り組む必要がある。	⑧ その他	さまざまな要望や多様なニーズの問い合わせにも施設管理者や宿泊施設との連携を強化して対応する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○J1規格スタジアムの整備やスポーツ交流受入拠点の充実
主な取組	スポーツコンベンション振興対策		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・スポーツコンベンションの核となるJ1規格スタジアムの整備、地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実や老朽化・耐震化対策等を推進するとともに、スポーツ交流の受入拠点の充実に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るため、情報の発信や各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する。	県,スポーツコミッション沖縄	国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るための各種スポーツコンベンションの歓迎支援		
		プロ野球、サッカーキャンプにおける歓迎支援件数(累計)		
		45件	45件(90件)	45件(135件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	スポーツアイランド沖縄推進費				予算事業名	スポーツアイランド沖縄推進費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	3,024	5,700		県単等	委託	3,000	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
<p>県内キャンプ実施チーム等に対する地域特産品贈呈やFIBAワールドカップ歓迎レセプション実施など、スポーツコンベンションの気運醸成を図った。</p>					<p>県内キャンプ実施チーム等に対する歓迎式の実施や地域特産品の贈呈など、スポーツコンベンションの気運醸成を図る。</p>			
活動指標名	プロ野球、サッカーキャンプにおける歓迎支援件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B			
	39件	59件	67件 (126件)	45件 (90件)	100.0%	順調	<p>沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチームに対して地域特産品や花束の贈呈等を行ったほか、ウェルカムボードや横断幕を制作するなど、県民をあげてスポーツコンベンション受入歓迎の気運醸成を図った。</p>	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>歓迎支援件数は、プロ野球で18件、プロサッカーで22件、その他スポーツ27件の計67件となり、目標値を達成した。                  要因としては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う合宿件数の増加が考えられる。                  次年度も、引き続きプロスポーツチームを歓迎するための各種取組を実施し、スポーツコンベンション開催の気運醸成を図る。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>「スポーツコミッション沖縄」を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーの実施内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。</p>	<p>プロ野球キャンプ・サッカーキャンプの受入市町村が合同で意見交換会を開催し、市町村や観光協会等の間で情報共有を図り、広域的に連携することで、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	地域特産品の贈呈については、沖縄県、受入市町村や協賛企業などがそれぞれ準備するが、準備する団体によって地域特産品に価額差があり、受取側の満足度に差が生じることがある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	沖縄県観光振興基金の活用などにより、プロスポーツチームの満足度向上に向けた取組みについて検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○グローバルな市場に向けた展開の促進
主な取組	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・スポーツに関連した高付加価値製品・サービスの開発に向けて、トップアスリートのトレーニングに関するデータの活用や医・科学分野との連携強化に取り組むとともに、グローバルな市場に向けた展開を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スポーツアイランド沖縄の形成を推進するため、各種産業の連携による、沖縄におけるスポーツの付加価値構築に向けた実証を支援することで、さらなるスポーツコンベンションの推進等を図るとともに、スポーツ関連産業における新たなビジネスモデル(産業)の創出を図る。	県	沖縄におけるスポーツの付加価値構築に向けた実証支援		
		新たな商品やサービスの創出を促す取組に対する支援件数(累計)		
		5件	5件(10件)	5件(15件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業				予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	補助	62,039	55,187		一括交付金 (ソフト)	補助	66,000	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
県内のスポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援し、新たな商品やサービスの創出を促した。					県内のスポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援し、新たな商品やサービスの創出を促す。			
活動指標名	新たな商品やサービスの創出を促す取組に対する支援件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		順調	広報物の配布、HP、事業説明会の開催等により提案募集を行った。採択した提案に対しては、専門的知見を有する事務局および有識者で構成する審査委員会による助言等、後方支援を行った。
	-件	7件	8件 (13件)	5件 (10件)	100.0%			

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
16件の応募があり、審査委員会における審査を経て、目標を上回る8件を支援することができた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 周知・説明において、他の産業やサービスとの連携を強調することにより、既にスポーツ関連の事業を実施している法人や団体のみならず、県内の各産業分野とスポーツが連携した提案が増加するよう取り組む。	○ Webサイト、広報物への掲載や説明会の開催等において、スポーツと他産業の連携を重視していることを周知・説明し、提案の増加に取り組んだ。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	本事業では、スポーツを活用した新たなビジネスモデルの創出を目標としており、従前のスポーツ関連事業の強化にとどまらずより付加価値の高い取組がなされるよう、応募者の理解向上に努める必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	周知広報の内容等については、応募者の理解向上のため不断の見直しに努め、より多くの提案応募につながるよう取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○グローバルな市場に向けた展開の促進
主な取組	スポーツ関連産業のグローバル市場への展開		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・スポーツに関連した高付加価値製品・サービスの開発に向けて、トップアスリートのトレーニングに関するデータの活用や医・科学分野との連携強化に取り組むとともに、グローバルな市場に向けた展開を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内企業における海外へのスポーツビジネス展開に係る支援を実施し、沖縄におけるスポーツの付加価値を高める。	国,県,民間等	県内企業における海外へのスポーツビジネス展開		
		県内企業における海外への展開件数(累計)		
		5件	10件(15件)	15件(30件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業				予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	補助	62,039	55,187		一括交付金 (ソフト)	補助	66,000	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
県内のスポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援（海外展開を含む）を行った。					県内のスポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援（海外展開を含む）を行う。			
活動指標名	県内企業における海外への展開 件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	一件	0件	0件	10件（15件）	0.0%	大幅遅れ	活用可能な支援を実施しているものの、当該支援が必ずしも海外展開に限った内容となっていないため、令和5年度は実績がなかった。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>予算事業においては、16件の応募があり、審査委員会における審査を経て、目標を上回る8件を支援することができた。16件の応募のうち1件が、海外展開に関する提案であり、審査委員会は補助事業候補として採択したが、事業者都合により辞退となったため、支援に至らなかった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○ 周知・説明において、他の産業やサービスとの連携を強調することにより、既にスポーツ関連の事業を実施している法人や団体のみならず、県内の各産業分野とスポーツが連携した提案が増加するよう取組む。</p> <p>○ 予算措置および取組の強化について、早急に推進する必要がある。予算事業において、海外展開に対する支援枠を設けることを検討する。</p>	<p>○ Webサイト、広報物への掲載や説明会の開催等において、スポーツと他産業の連携を重視していることを周知・説明し、提案の増加に取り組んだ。</p> <p>○ 予算事業において、令和6年度は海外展開に対する支援を重点項目に掲げ、提案の促進を図っている。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>予算事業の対象となり得るものの、当該事業は必ずしも海外展開に限った内容となっていないため、スポーツ関連産業のグローバル展開を重視した予算措置や取組が不足している。</p>
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>これまで海外展開については、現地で商品やサービス等を提供する輸出や工場等を設置する投資などを重視してきたが、今後はインバウンドも含め、取組の対象の拡大を検討する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>予算事業における重点項目の設置等の結果を踏まえ、スポーツ関連産業のグローバル展開に係る予算措置や取組について検討する。</p>
⑥ 変化に対応した取組の改善	<p>海外の現地で展開が見込めるスポーツ関連事業の情報を収集するとともに、スポーツコンベンションにおけるインバウンドの強化など、取組の対象とする海外展開の拡大を検討する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくり
主な取組	県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーション促進		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	<p>・スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望とされていることから、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、プロスポーツチームをはじめとする県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりを促進するとともに、スポーツ関連産業の展示会誘致・開催等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に係る支援を実施し、沖縄におけるスポーツの付加価値を高める。	国,県,民間等	各種スポーツ団体と他産業との連携等による、新たなサービスの創出		
		県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーション件数(累計)		
		1件	2件(3件)	3件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業				予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	補助	62,039	55,187		一括交付金 (ソフト)	補助	66,000	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
<p>県内スポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等                      に対して支援（各種スポーツ団体と他産業の連携等によるサー                      ビスの創出を含む）を行った。</p>					<p>県内スポーツ関連事業等へ付加価値構築を図る実証モデル等                      に対して支援（各種スポーツ団体と他産業の連携等によるサー                      ビスの創出を含む）を行う。</p>			
活動指標名	県内スポーツチームと他産業と のオープンイノベーション件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		<p>広報物の配布、HP、事業説明会の開催等によ り提案募集を行った。採択した提案に対しては、 専門的知見を有する事務局および有識者で構成す る審査委員会による助言等、後方支援を行った。</p>	
	-件	0件	1件(1件)	2件(3件)	50.0%	大幅遅れ		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>予算事業においては、16件の応募があり、審査委員会における審査を経て、目標を上回る8件を支援できた。8件の支援のうち1件が、県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーションの連携（デジタルヘルス機器の活用）に係る提案であった。</p>	
<p>(2)これまでの改善案の反映状況</p>	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○ 周知・説明において、他の産業やサービスとの連携を強調することにより、既にスポーツ関連の事業を実施している法人や団体のみならず、県内の各産業分野とスポーツが連携した提案が増加するよう取組む。</p> <p>○ 予算措置および取組の強化について、早急に推進する必要がある。予算事業において、各種スポーツ団体と他産業の連携等によるサービスの創出に対する支援枠を設けることを検討する。</p>	<p>○ Webサイト、広報物への掲載や説明会の開催等において、スポーツと他産業の連携を重視していることを周知・説明し、提案の増加に取り組んだ。</p> <p>○ 予算事業において、令和6年度は各種スポーツ団体と他産業の連携等によるサービスの創出に対する支援を重点項目に掲げ、提案の促進を図っている。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>予算事業の対象となり得るものの、当該事業は必ずしも各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に限った内容となっていないため、当該取組を重視した予算措置や取組が不足している。</p>
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>情報収集や庁内各課との連携など、予算事業以外の取組の強化が必要である。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>予算事業における重点項目の設置等の結果を踏まえ、各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に係る予算措置や取組を検討する。</p>
② 連携の強化・改善	<p>予算事業以外にも、庁内各課から寄せられる情報等を、県内スポーツチームに提供するなど、予算事業以外の取組の強化を図る。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくり
主な取組	スポーツ関連産業の展示会誘致・開催		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	<p>・スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望とされていることから、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、プロスポーツチームをはじめとする県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりを促進するとともに、スポーツ関連産業の展示会誘致・開催等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スポーツコンベンション誘致戦略推進事業において、スポーツコンベンション誘致拡大につながるスポーツ関連産業の展示会誘致に働きかける。	県,民間等	スポーツ関連展示会の誘致		
		開催地の支援を受けたスポーツ関連展示会開催件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業			予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	57,599	50,838	一括交付金 (ソフト)	委託	60,152
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
スポーツコンベンション誘致拡大を推進するため、スポーツ関連産業の展示会誘致の働きかけを行った。				スポーツコンベンション誘致拡大を推進するため、スポーツ関連産業の展示会誘致の働きかけを行う。		

活動指標名	開催地の支援を受けたスポーツ 関連展示会開催件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	0件	0件 (0件)	1件 (2件)	0.0%	大幅遅れ	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業において、スポーツコンベンション誘致に併せてスポーツ関連産業の展示会誘致に働きかけを行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

スポーツ関連産業の展示会の誘致に向けて主催者や関係機関と意見交換を継続した結果、令和5年度中の開催は実現しなかったが、令和6年度に1件の開催が決定している。今後も開催が継続するよう、関係機関と密に連携し準備を進める。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
スポーツ関連産業展示会を誘致するため、関係機関との連携をさらに強化し、引き続き働きかけを行う。	スポーツ関連産業の展示会に出展しスポーツコンベンションの誘致活動に取り組むとともに、展示会主催者との意見交換や情報収集に努め、県内開催に向けた誘致活動を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	スポーツ関連産業の展示会開催は主催者意向の影響が大きいことから、主催者との継続的な情報収集や意見交換が重要となっている。	⑧ その他	スポーツ関連産業展示会誘致に向け、開催条件の調査や関係機関との連携等、主催者との継続的な情報収集や意見交換を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○スポーツに関わる多様な人材の育成
主な取組	スポーツマネジメント等人材育成		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・ 持続的な県内スポーツ関連産業の発展のため、スポーツマネジメントや指導者などスポーツに関わる多様な人材の育成を大学、競技団体等と連携して取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スポーツ関連産業の発展を牽引し、支える人材の育成に取り組む。	県,大学	スポーツ関連産業の発展を牽引し、支える人材の育成		
		情報収集、制度設計等		
		情報収集	制度設計	カリキュラム内容検討
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
有識者との意見交換や民間団体における取組の研究等、情報収集を踏まえて、取組の具体化や予算措置に向けた検討を行った。				有識者との意見交換や民間団体における取組の研究等、情報収集を踏まえて、取組の具体化や予算措置に向けた検討を行う。		

活動指標名	情報収集、制度設計等		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	情報収集	制度設計	制度設計	100.0%	順調	取組の具体化や予算措置に向けて、有識者との意見交換や民間団体における取組の研究等、情報収集を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和5年度においては、内閣府計上予算による県内の産業人材育成事業（民間事業者）と連携し、スポーツマネジメント等人材育成に取り組んだ。また、情報収集及び関係機関との意見交換等の結果を踏まえ、持続的なスポーツ関連産業の発展を牽引するには、中核となる地域スポーツコミッションの役割が重要であることから、地域スポーツコミッションにおける人材育成の手法を検討した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
<p>○ 予算措置や取組の具体化について推進する必要がある。国の事業においてもスポーツに関連する人材育成事業の提案がなされていることを確認しており、今後は関係機関と連携を深め、より取組を推進する。</p>	<p>○ 令和5年度においては、内閣府計上予算による県内の産業人材育成事業（民間事業者）において、実行委員会や研修講師として参画するなど、連携してスポーツマネジメント等人材育成に取り組んだ。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<p>持続的なスポーツ関連産業の発展を牽引するには、中核となる地域スポーツコミッションの人材育成が重要であることから、予算措置や取組に向けた検討が必要。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>令和6年度の国直轄事業の予算を活用し、スポーツコミッション沖縄が主体となった事業の実施を検討しており、事業の実施による取組の多角化とそれを担う人材の育成に取り組む。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○地域資源を活用したまちづくりやスポーツを通じた国際貢献の促進
主な取組	県内プロスポーツチーム等ホームゲームへの誘客促進		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	・スタジアム・アリーナ、県内プロスポーツチーム及びトップアスリート等の地域資源を活用したまちづくりを進めるとともに、スポーツ関連団体やアスリート、地域企業等の共働による新たな製品・サービスの創出に向けた取組、子どもの居場所づくりへの支援など多様な社会課題の解決やスポーツを通じた国際貢献を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内プロスポーツチーム等のホームゲームへの誘客を促進するため、県内プロスポーツチームの活躍・注目度向上につながる取組みを実施する。	県	観るスポーツの機運醸成、県内プロスポーツチーム等との連携		
		県内プロスポーツチーム等ホームゲーム動員数(累計)		
		150,000人	155,000人(305,000人)	160,000人(465,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツ観光戦略的誘客促進事業			予算事業名	スポーツ観光戦略的誘客促進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	54,741	65,603	一括交付金 (ソフト)	補助	50,053
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>県外からの誘客については、県内プロスポーツチーム等のアウェイゲームにおいて、ホームゲームへの誘客促進を図るプロモーション活動を行った。</p>				<p>スポーツチームを県民みんなで応援する機運醸成のための取組みや県内プロスポーツチームの活躍・注目度向上につながる取組みを実施する。</p>		

活動指標名	県内プロスポーツチーム等ホームゲーム動員数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	155,206人	284,091人	335,115人 (619,206人)	155,000人 (305,000人)	100.0%	順調	県外からの誘客については、県内プロスポーツチーム等のアウェイゲームにおいて、ホームゲームへの誘客促進を図るプロモーション活動を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内プロスポーツチーム等の観客動員数 (琉球ゴールデンキングス (バスケットボール)、FC琉球 (サッカー)) は増加しており、県民のプロスポーツ等に対する関心の高まりが認められる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
観客動員数の少ない競技について、効果的なPR方法を検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観客動員の少ない競技への県民の注目度をあげ、県内スポーツチームを県民あげて応援する機運を高めるため、優勝報告会やシーズン報告会を実施した。</li> <li>○ 県内スポーツチームのホームゲームを盛り上げるため、チームが主催する県民招待や児童・生徒の招待について、情報発信や教育庁との連携を行った。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	競技により人気差が生じており、観客動員数が少ない競技も存在している。	⑧ その他	観客動員数が少ない競技への注目度を高め、ファンを増やすための取組みとして、トップアスリートとのスポーツ交流を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○地域資源を活用したまちづくりやスポーツを通じた国際貢献の促進
主な取組	スポーツを通じた社会課題解決、国際貢献		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	<p>・スタジアム・アリーナ、県内プロスポーツチーム及びトップアスリート等の地域資源を活用したまちづくりを進めるとともに、スポーツ関連団体やアスリート、地域企業等の共働による新たな製品・サービスの創出に向けた取組、子どもの居場所づくりへの支援など多様な社会課題の解決やスポーツを通じた国際貢献を促進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県内自治体におけるスポーツを通じたまちづくり、人材育成、子どもの居場所づくり、国際交流に向けた取組を実施する。</p>	<p>県、市町村、民間等</p>	スポーツを通じた社会課題解決、国際貢献への取組		
		県内自治体におけるスポーツを通じたまちづくり、人材育成、子どもの居場所づくり、国際交流に向けた取組数(累計)		
		5件	7件(12件)	10件(22件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業			予算事業名	FBWC2023のレガシーを活用したスポーツ交流推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
内閣府計上	委託	55,089	815,190	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	6,000
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
沖縄の子ども達のFBWC2023沖縄ラウンドへ招待や同時開催国等との交流機会を創出。また、トップアスリート等と子ども達との交流を行った。				国内外のトップアスリートやデフバレーボール世界選手権を通じた子ども達との交流等を実施する。		
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023推進事業			予算事業名		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
県単等	負担	55,089	224,466	主な財源	実施方法	当初予算額
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
沖縄の子ども達のFBWC2023沖縄ラウンドへ招待や同時開催国等との交流機会を創出。また、トップアスリート等と子ども達との交流を行った。						

様式1 (主な取組)

活動指標名	県内自治体におけるスポーツを通じたまちづくり、人材育成、子どもの居場所づくり、国際交流に向けた取組数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B		
実績値	-件	16件	19件(35件)	7件(12件)	100.0%	順調	令和5年8月のFBWC2023開催に向け、県内の子ども達と開催国の学生とのオンライン交流を実施した。またトップアスリートが子ども達にバスケットボールの指導を行うバスケットボールクリニックを開催した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
FBWC2023開催地支援協議会(県、沖縄市、那覇市、宜野湾市、北谷町、県教育庁、FBWC2023日本組織委員会などで構成)において、県内8校、797名の小学生にオンラインによる国際交流を実施した。また、協議会構成員である4市町に北部地区、中部地区、南部地区を加えて、全11回、合計515名の小中学生にトップアスリートや指導者を招聘し、クリニックや質問コーナー等による交流を実施した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予算措置及び具体的な取組について、早急に推進する必要がある。</li> <li>○ 窓口となるバスケットボール協会と情報交換し、あらかじめ参加者を多めに募るなど、より多くの子ども達が交流に参加できるように取り組む。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年度は新たに「FBWC2023のレガシーを活用したスポーツ交流推進事業」を実施し、国内外のトップアスリートや県内で開催される世界大会を活用した子ども達の交流等に取り組むこととしている。</li> <li>○ FIBAバスケットボールワールドカップ2023を通じた子ども達と世界との交流においては、沖縄県バスケットボール協会と綿密に情報交換を行い、多くの子ども達が交流に参加できるよう取り組んだ。</li> </ul>			

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内で開催される「デフバレーボール世界選手権」を通じて、より多くの子ども達に交流の機会を創出できるよう、関係団体との連携を強化する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	開催地である豊見城市、糸満市および沖縄県バレーボール協会との連携を強化し、県内全域への周知を図ることで、より多くの子ども達に交流の機会を創出できるよう取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○国際競技大会や大規模スポーツイベントの誘致・開催
主な取組	FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催支援		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	・本県の魅力を活用し、開催地周辺の地域・経済を活性化させる国際競技大会や大規模スポーツイベントを市町村及び関係団体と連携し、誘致・開催に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催に向けた受入体制の構築及び沖縄の子ども達の交流創出等、本大会を活用した地域・経済の振興を図る。	県,市町村	2023年に開催される同大会の開催に向けての支援		
		機運醸成、輸送・警備・ロジスティクス体制構築		
		機運醸成、計画策定	計画に基づく実施	—
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業				予算事業名			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
内閣府計上	委託	55,089	815,190		主な財源	実施方法	当初予算額	
					—	—		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
沖縄の子ども達と世界との交流、機運醸成としてシティドレッシング等を実施。また、輸送、警備等大会の受入体制、ファンゾーン等の構築を実施した。								
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023推進事業				予算事業名			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
県単等	負担	55,089	224,466		主な財源	実施方法	当初予算額	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
沖縄の子ども達と世界との交流、機運醸成としてシティドレッシング等を実施。また、輸送、警備等大会の受入体制、ファンゾーン等の構築を実施した。								
活動指標名	機運醸成、輸送・警備・ロジスティクス体制構築		R5年度			進捗状況	活動概要	
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
実績値	—	機運醸成、計画策定	計画に基づく実施	計画に基づく実施	100.0%	順調	沖縄の子ども達と世界との交流、トップアスリート等との交流や機運醸成としてシティドレッシング等を実施した。また、輸送、警備、ボランティアの活用等大会の受入体制、ファンゾーン等の計画を実施した。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>FBWC2023沖縄グループステージには約12万5千人が訪れ、開催地支援協議会（県、沖縄市、那覇市、宜野湾市、北谷町、県教育庁、FBWC2023日本組織委員会等で構成）による機運醸成、輸送や渋滞対策、警備体制の構築、ファンゾーンの設置や離島を含めた1万人の子ども達招待など、様々な取組を計画に基づき実施し、大会の成功に寄与することができた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○ より効果的、広範囲にシティードレッシングを実施していく。バスケットボールに関心が高い層以外が興味を持つようなイベントへの出展や、多種多様なプロモーションを実施する。</p>	<p>○ モノレール、バス、タクシーなどの公共交通機関、沖縄市役所、那覇空港、トロピカルビーチ（宜野湾市）やアメリカンビレッジ（北谷町）など、広範囲でシティードレッシング等のプロモーションを実施した。また、バスケットボール以外のイベントでもプロモーションを実施し、関心が高い層以外にも大会の魅力が伝わるよう多種多様なプロモーションを実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催により得られたノウハウ、構築されたレガシーを、今後いかに活用できるかが課題となる。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	今後も国際大会が開催できるよう情報を収集し、各市町村と連携して誘致に取組む。また、スポーツを通じた子ども達と世界との交流機会の創出等、教育的・社会的効果が期待できる取組を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○国際競技大会や大規模スポーツイベントの誘致・開催
主な取組	国際競技大会の開催支援		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	・本県の魅力を活用し、開催地周辺の地域・経済を活性化させる国際競技大会や大規模スポーツイベントを市町村及び関係団体と連携し、誘致・開催に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内で開催される国際競技大会について、市町村や関係機関と連携しながら警備や医療提供、観客輸送等の支援を行うとともに、ボランティア募集等を通じて運営ノウハウを蓄積し、次回以降の大会誘致に繋げる。	県,市町村,競技団体	競技団体等と連携した各種国際競技大会、大規模スポーツ大会の誘致及び開催		
		開催地自治体と連携した国際競技大会の開催件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業				予算事業名	デフバレー世界選手権開催支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度決算額	R5年度決算見込額		R6年度			
内閣府計上	委託	55,089	815,190		主な財源	実施方法	当初予算額	
令和5年度活動内容					県単等	負担	10,000	
FBWC2023開催期間中、輸送・警備・ボランティア配置など大会運営を支援し、次回大会誘致に向けたノウハウの蓄積、レガシーの構築を図った。					令和6年度活動計画			
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023推進事業				デフバレーボール世界選手権2024沖縄豊見城大会の開催にあたり、大会実行委員会の取組を支援する。			
主な財源	実施方法	R4年度決算額	R5年度決算見込額		R6年度			
県単等	負担	55,089	224,466		主な財源	実施方法	当初予算額	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
FBWC2023開催期間中、輸送・警備・ボランティア配置など大会運営を支援し、次回大会誘致に向けたノウハウの蓄積、レガシーの構築を図った。								
活動指標名	開催地自治体と連携した国際競技大会の開催件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B			
	-件	1件	1件 (2件)	1件 (2件)	100.0%	順調	FBWC2023開催期間中は、輸送・渋滞対策、警備、ボランティア配置、ファンゾーン設置や子ども達の観戦招待など、大会運営を支援し、次の国際大会誘致に向けたノウハウの蓄積、レガシーの構築に取り組んだ。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>FBWC2023開催地支援協議会（県、沖縄市、那覇市、宜野湾市、北谷町、県教育庁、県警、FBWC2023日本組織委員会等で構成）として、選手及び関係者の輸送、大会会場周辺の渋滞対策、ボランティアの募集及び活動場所への配置、ファンゾーンの設置等、県内では初めてとなる大規模国際大会の開催を支援した。大会には約12万5千人が訪れ、大会の成功に寄与することができた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○ 今後は、本県の地理的特性を生かし、「スポーツアイランド沖縄」の形成を実現するため、国際大会開催の誘致について、県として仕組みを整えた上で積極的に取り組むことを検討する。</p>	<p>○ 令和6年度においては、これまで取り組んできたスポーツキャンプ誘致の取組により県内で合宿を実施していたデフバレーボール日本代表が出場する「デフバレーボール世界選手権大会」の開催が決定し、国際大会の誘致が実現した。</p>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>継続して国際大会を誘致するためには、従来のスポーツキャンプやコンベンション誘致に係る取組に加え、情報収集の強化や大会の開催を支援する制度的な仕組みなど、取組の強化が必要。</p>	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	<p>本県の地理的特性を生かし、「スポーツアイランド沖縄」を実現するため、県として仕組みを整え、積極的な取組を検討する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○各種スポーツイベント開催の推進
主な取組	スポーツイベント開催支援		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	<p>・県民のスポーツ参画意識の向上や競技力向上を図るため、各種スポーツイベント開催を推進し、児童生徒をはじめとする県民がスポーツと接する機会やトップアスリートと交流する機会の創出に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スポーツツーリズムを推進するために、県内にお け新たなスポーツイベント創出のための支援を行 う。	県	県内におけるスポーツイベントの創出、定着化、自走化に向けた支援		
		スポーツイベント開催支援件数(累計)		
		4件	4件(8件)	4件(12件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名	スポーツイベント支援事業				予算事業名	スポーツイベント支援事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
一括交付金 (ソフト)	補助	22,429	24,125		一括交付金 (ソフト)	補助	21,714		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
県内におけるスポーツイベントについて、新規枠3件、定着枠1件、付帯事業枠1件の補助を行った。					県内におけるスポーツイベントの創出を図り、定着化、自走化に向け4件以上の補助を行う。				
活動指標名	スポーツイベント開催支援件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要		
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	4件	4件	4件(8件)	4件(8件)	100.0%	順調	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出を図り、自走化、定着化に向けて4件の補助対象事業者に補助を行った。		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果									
新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化を図られるよう支援枠を設定しており、開催支援件数が目標値に達しているため順調とした。									
(2) これまでの改善案の反映状況									
令和5年度の取組改善案				反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる自走化・定着化を目指した定期的な支援を行う。</li> <li>○ 事業者のイベントによる稼ぐ力を向上させるため、引き続きイベント本体に付帯する事業について支援を行う。</li> <li>○ 県外・海外からのイベント参加者を向上させるために、沖縄で開催するイベントの魅力伝えるための情報発信を行う。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アドバイザーによる面談及びメール等での支援を定期的に行った。</li> <li>○ イベントの安定的な収入確保や集客力向上させるため、イベント本体に付帯して行う事業について支援を行った。</li> <li>○ スポーツイベント情報を扱うWebサイトを活用し、イベント情報の発信を行った。</li> </ul>					

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	創出したスポーツイベントの自走化・定着化を図るためには、安定的な収入や執行体制の強化が必要である。	① 執行体制の改善	採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる自走化・定着化を目指した定期的な支援を行う。
		① 執行体制の改善	事業者のイベントによる稼ぐ力を向上させるため、引き続きイベント本体に付帯する事業について支援を行う。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	県外・海外からのイベント参加者を向上させるために、沖縄で開催するイベントの魅力伝えるための情報発信を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○施設利用者の安全確保のための対策
主な取組	県立社会体育施設の計画的な改修・修繕		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・各種スポーツコンベンションに対応した施設の整備・充実を推進するとともに、老朽化の進んだ既存施設については、施設利用者の安全確保のための対策を計画的に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民が安全かつ快適にスポーツを行えるよう、スポーツ施設の補修維持管理、改築・改修、施設備品の購入等を実施する。	県	水泳プール床タイルの改修工事の実施	水泳プール非常放送設備、中央監視装置及び武道館リモートコントロールの取替工事等の実施	
		安全で良好なスポーツ環境の整備に係る工事件数(累計)		
		1件	2件(3件)	2件(5件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	体育施設整備事業費				予算事業名	体育施設整備事業費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	6,456	16,740		県単等	直接実施	18,606
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
奥武山水泳プール飛込台補修工事、県立武道館外壁補修工事、ライフル射撃場屋根葺替等工事等を実施した。					奥武山総合運動場消防設備改修工事、奥武山庭球場人工芝張替工事、ライフル射撃場LED化工事等の実施を予定している。		
活動指標名	安全で良好なスポーツ環境の整備に係る工事件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-件	2件	5件 (7件)	2件 (3件)	100.0%	順調	奥武山水泳プール飛込台補修工事、県立武道館外壁補修工事、ライフル射撃場屋根葺替等工事など5件の工事を実施した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
沖縄県スポーツ施設に係る個別施設計画に基づき、工事を実施し、安全で良好なスポーツ環境の整備が図られた。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案					反映状況		
今後も社会情勢の変化等を注視しながら沖縄県スポーツ施設に係る個別施設計画に基づき、県立武道館等の体育施設を計画的・効率的に整備していく必要がある。					省エネ・脱炭素化の取組として、奥武山弓道場及びライフル射撃場の照明設備LED化工事的设计業務を実施した。		

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和16年に沖縄県で国民スポーツ大会開催が予定されていることを踏まえ、計画的にスポーツ施設の修繕・改修等を行う必要がある。	① 執行体制の改善	国民スポーツ大会開催施設基準調査を実施し、大会開催に向けた施設の修繕・改修費用等について、調査・検討を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○施設利用者の安全確保のための対策
主な取組	県立社会体育施設の環境整備や接客対応の充実、利用条件の改善、教室・プログラムの充実		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・各種スポーツコンベンションに対応した施設の整備・充実を推進するとともに、老朽化の進んだ既存施設については、施設利用者の安全確保のための対策を計画的に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、生涯スポーツ社会の実現と競技スポーツの振興を図るため、奥武山総合運動場において指定管理者制度を導入し、施設の整備・充実及び管理・運営を行う。また、管理・運営状況について毎年のモニタリングによる評価を行う。	県,指定管理者	施設の環境整備や接客対応の充実、利用条件の改善、教室・プログラムの充実		
		施設利用者満足度		
		92.0%	93.0%	94.0%
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	<a href="http://www.ounoyama.jp/">http://www.ounoyama.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	社会体育施設管理運営費			予算事業名	社会体育施設管理運営費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	181,600	182,400	県単等	委託	183,700
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
奥武山総合運動場について、指定管理者による民間の能力を活用しつつ、効率的かつ円滑な施設管理運営を行い、モニタリングによる評価を実施した。				引き続き指定管理者による効率的かつ円滑な管理運営を行い、県民の健康保持増進のためのサービス向上を図り、モニタリングによる評価を行う。		

活動指標名	施設利用者満足度		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	95%	92%	97%	93.0%	100.0%	順調	奥武山総合運動場について、指定管理者による管理運営の中で、スポーツ教室やイベント等の自主事業も積極的に拡充し、アンケート結果も満足度の高い結果となった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

基本協定書に基づき、施設の維持管理・運営・自主事業等、全般的に適切な対応ができており、利用者アンケートによる各項目の満足度も90%以上の高い評価を維持している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
多様な利用状況に対応できるよう、引き続き指定管理者や関係団体等との連携のもと、利用者の利便性向上を図っていく。	施設利用について利用者の希望を踏まえ、休場日や時間外の開場、全国規模の大会のための利用調整など、条例及び基本協定書等に基づき指定管理者との間で適切に対応した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	施設の設備整備や利用条件、教室・プログラムの充実等の多様なニーズに対応するため、施設の計画的な改修を図るとともに、指定管理者との連携を密にする必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	多様な利用状況に対応できるよう、引き続き指定管理者や関係機関との連携のもと、利用者の利便性向上に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○スポーツ関連施設におけるICTの活用導入
主な取組	スポーツ施設オンライン予約システムの導入による利便性向上		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・県民、観戦者等が簡易的かつ効果的にスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことができるよう、スポーツ関連施設におけるICTの活用導入に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
誰もが気軽にスポーツにアクセスできるよう利便性の向上を図るとともに、ポストコロナ社会を見据えた、安全安心なスポーツ環境を提供するため、スポーツ関連施設におけるオンライン予約システムを導入する。	県,市町村	県及び県内市町村のスポーツ施設オンライン予約システム導入の推進・促進			
		スポーツ施設オンライン予約管理システム導入市町村数(累計)			
		2市町村(10市町村)	2市町村(12市町村)	2市町村(14市町村)	
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課		【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	—				予算事業名	体育施設整備事業費（体育施設予約システム導入委託）		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—				県単等	委託	7,986	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
指定管理者からの意見や県内市町村での先行事例をもとに、専門業者へのヒアリングも踏まえ、予算措置に向けた調整を行った。					沖縄県立奥武山総合運動場において、オンラインで各体育施設の予約が可能となるよう、システムの構築・導入を実施する。			
活動指標名	スポーツ施設オンライン予約管理システム導入市町村数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	10市町村	2市町村	1市町村 (13市町村)	2市町村 (12市町村)	50.0%	大幅遅れ	奥武山総合運動場においてもオンライン予約システムが未導入であることから、指定管理者の意見や県内市町村での先行事例をもとに、専門業者へのヒアリングも踏まえ、予算措置に向けた調整を行った。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
市町村独自でのシステム導入により、オンライン予約が可能となった体育施設は増加しており、単年度の実績としては50%の達成割合だったが、累計の実績では目標値を上回っているところ。なお、保有する体育施設数が少ない市町村などにおいては、費用対効果に課題がある。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
予約管理システム未導入の県立体育施設については、指定管理者とも連携し、引き続き予算措置に向けた具体的な検討を推進する。	県立奥武山総合運動場へオンライン予約システムを導入するため、指定管理者の意見や県内市町村での先行事例をもとに、専門業者へのヒアリングも踏まえ、具体的な予算措置に向けた調整を行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	保有する体育施設が少ない市町村などにおいては、費用対効果が課題となっているため、導入しやすい手法を検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	奥武山総合運動場で導入する予約システムの実績や効果を踏まえ、保有する体育施設の少ない市町村が導入しやすい手法を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○スポーツ・レクリエーションの場の確保
主な取組	県立学校体育施設の有効活用		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・地域における身近なスポーツ・レクリエーション活動の場を確保するため、公共スポーツ・レクリエーション施設等の整備・充実と適切な管理・運営や学校体育施設の有効活用に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民の健康な身体の育成のため、県立学校の体育施設を開放し、スポーツ活動の場所の拡充を図る。	県	県立学校体育施設の有効活用の推進		
		一般利用のために学校体育施設を開放している県立学校数(累計)		
		1校(10校)	2校(12校)	3校(15校)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	社会体育活動支援事業費			予算事業名	社会体育活動支援事業費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	388	363	県単等	直接実施	908
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>県民が身近な地域でスポーツのできる環境を提供するため、県立学校体育施設の開放の推進として、管理指導員への報償費及び光熱水費の支給を行った。</p>				<p>県民の健康の保持増進に向け、引き続き県立学校体育施設の開放の取組を行う。</p>		

活動指標名	一般利用のために学校体育施設を開放している県立学校数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	9校	1校 (10校)	0校 (10校)	2校 (12校)	0.0%	大幅遅れ	<p>県民が身近な地域でスポーツのできる環境を提供するため、県立学校体育施設の開放の推進として、管理指導員への報償費及び光熱費の支給を行った。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>新たに体育施設を開放した学校が1校あったが、取りやめた学校も1校あったため、増減は0校となっている。他にも開放可能な学校が3校あったが、この学校の利用を希望するスポーツ団体が無く、実績には至らなかった。            なお、開放施設を利用するスポーツ団体数は、全体では1団体の増となっており、県民が身近な地域でスポーツのできる環境の提供は図られている。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>本事業の趣旨及び内容について、各県立学校と課題解決に向けた調整を個別に行い、また、利用団体となる地域スポーツ団体への周知も強化することで、開放校の増加を図る。</p>	<p>県立学校に対して学校開放についての意向調査を行った上で、開放を検討している県立学校へは個別訪問により本事業の周知及び学校側の協力を要請し、開放校の増加に取り組んだ。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	各県立学校への開放希望調査において、学校側の事情として外部団体への出入りについての管理体制や部活動との利用調整等の理由から、開放に慎重となるケースがある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	開放可能な学校があるものの、利用団体がいないケースもあることから、地域のスポーツ団体向けの周知等にも取り組む必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	本事業の趣旨及び内容について、各県立学校と課題解決に向けた調整を個別に行い、開放校の増加を図る。
⑤ 情報発信等の強化・改善	開放可能な学校がある場合は、当該学校や関係機関と連携し、地域で活動するスポーツ団体の把握や開放校の情報発信等に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○スポーツ・レクリエーションの場の確保
主な取組	市町村立学校体育施設の有効活用		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・地域における身近なスポーツ・レクリエーション活動の場を確保するため、公共スポーツ・レクリエーション施設等の整備・充実と適切な管理・運営や学校体育施設の有効活用に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
市町村立学校の体育施設を開放し、スポーツ活動の場所の拡充を図る。	県,市町村	市町村立学校体育施設の有効活用の促進		
		一般利用のために学校体育施設を開放している市町村数(内訳)		
		41市町村	41市町村(継続41市町村)	41市町村(継続41市町村)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
市町村立学校体育施設の開放に向けた課題等の情報収集を行った。				県と市町村間において、継続した施設開放に向けての課題等を共有し、引き続き県立学校体育施設とあわせて有効活用を推進する。		

活動指標名	一般利用のために学校体育施設を開放している市町村数 (内訳)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-市町村	41市町村	41市町村 (継続41市町村)	41市町村 (継続41市町村)	100.0%	順調	市町村立学校の体育施設については、既に全市町村において一般利用が可能となっており、継続した市町村立学校体育施設の開放に向けた課題等の情報収集を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
既に全市町村において一般利用のために学校施設を開放していることから、県と市町村間においては、継続した施設開放に向けての課題等を共有し、県立学校体育施設とともに有効活用の推進を行う必要がある。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 各学校体育施設を所管する市町村と連携を強化し、開放にあたっての課題等の解決に向けた検討を行う。	○ 継続した市町村立学校体育施設の開放に向けた課題等の情報収集を行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	市町村が所管する学校体育施設の開放について、今後も継続して開放するための課題等を共有し、県立学校体育施設とともに有効活用の推進を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	県と市町村間において、継続した施設開放に向けての課題等を共有し、引き続き市町村との連携の強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	②県民の競技力向上・スポーツ活動の推進
			施策の小項目名	○小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実
主な取組	県民体育大会運営支援		対応する成果指標	県出身日本代表スポーツ選手累計 (国際大会)
施策の方向	・小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実や各競技団体の主体的な課題解決の支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内競技団体を統轄する(公財)沖縄県スポーツ協会が、県民体育大会の開催を円滑に行えるよう運営支援を行う。	県、県スポーツ協会、競技団体	スポーツ振興と県民生活を明るく豊かにするための県民体育大会の円滑な運営支援		
		県民体育大会参加人数(累計)		
		9,600人	9,600人(19,200人)	9,600人(28,800人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	県民体育大会事業費			予算事業名	県民体育大会事業費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	14,548	20,794	県単等	補助	14,035
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
先島地区を主会場に開催し、43競技に8,828名が参加。19の採点競技による14市郡対抗戦を行った。				那覇・浦添地区を主会場として開催予定。 夏期：6月～11月 秋季：11月 冬季：10月～12月		

活動指標名	県民体育大会参加人数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	269人	8,585人	8,828人 (17,413人)	9,600人 (19,200人)	92.0%	順調	全45競技中、43競技を開催した。中止となった2競技は、なぎなた(台風のため中止)、カヌー恐怖着(安全面の確保が困難なため開催中止)であった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県スポーツ協会、開催地区(先島)および各競技団体との連携のもと、45競技中43競技を開催し、8,828名の選手が参加した。先島地区での開催であったが、空路による計画輸送も順調に行われた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
大会参加者数の増加を目指すだけでなく、沖縄県スポーツ協会や各競技団体と連携し、競技の普及に向けた取り組みの検討が求められる。	沖縄県スポーツ協会と競技団体の意見交換において、エントリー種目の増加に向けた市郡への支援、大会運営役員の育成、体験会の開催による競技の普及、参加資格(県外で活動する県出身競技者の参加を認める)の見直しなど、大会参加者数の増及び競技の普及に向けた検討を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	現行の大会参加資格における、各競技団体の課題や競技の普及に向けた取り組みについて、競技団体の意見を確認する必要がある。	② 連携の強化・改善	沖縄県スポーツ協会を中心に各競技団体へヒアリングを行い、大会の在り方及び競技の普及に向けた課題を把握し、今後の取り組みを検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	②県民の競技力向上・スポーツ活動の推進
			施策の小項目名	○小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実
主な取組	各競技団体選手育成等への取り組み支援		対応する成果指標	県出身日本代表スポーツ選手累計 (国際大会)
施策の方向	・小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実や各競技団体の主体的な課題解決の支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各競技団体が主体的に取り組む、中長期的な視点による選手の育成・強化など、一貫した指導システムに対する支援を行い、競技力の向上を図る。	県、県スポーツ協会、競技団体	各競技団体が主体的に取り組む中長期的な視点で選手の育成、強化、課題解決を目的とした一貫した指導システムへの支援		
		競技力向上対策事業実施競技団体数		
		13競技団体	14競技団体	15競技団体
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		競技力向上対策事業費		予算事業名		競技力向上対策事業費
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	61,098	70,161	県単等	補助	71,211
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
競技力向上対策事業の「企画提案型競技力対策事業」において、競技団体が主体となって取り組む中長期的な選手の育成・強化に対する支援を行った。				競技力向上対策事業の「企画提案型競技力対策事業」において、競技団体が主体となって取り組む中長期的な選手の育成・強化に対する支援を行う。		

活動指標名	競技力向上対策事業実施競技団体数		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	12競技団体	11競技団体	12競技団体	14競技団体	85.7%	概ね順調	企画提案型競技力対策事業により、12競技団体に対する支援を行い、選手の育成・強化を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>本事業は、原則3年間の継続支援となっており、活動指標を達成するためには、毎年4～5団体の採用することになる。新型コロナの影響により、令和3年度の社会経済活動が制限された結果、申請が2団体に留まった影響から令和5年度の達成状況は85.7%となっている。なお、令和4年度は6団体、令和5年度は4団体の申請があったため、令和6年度以降は新型コロナの影響が緩和する見通しとなっている。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
<p>沖縄県スポーツ協会及び各競技団体と意見交換を行い、各競技の選手育成に関する現状・課題について、議論・検討を行う。</p>	<p>沖縄県スポーツ協会を中心に各競技団体との意見交換を行い、本事業への申請案内を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	過去の実施団体に偏りがみられるため、他の競技団体への周知や申請の支援なども検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	本事業における選定方針の検討や未申請団体へのヒアリング・支援の他、実施団体の進捗確認と支援について検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	②県民の競技力向上・スポーツ活動の推進
			施策の小項目名	○競技力の向上やトップアスリートの育成
主な取組	トップレベル選手育成支援		対応する成果指標	県出身日本代表スポーツ選手累計 (国際大会)
施策の方向	<p>・ 県外チームの招聘や県外での強化試合の推進、コーチ等の招聘、専門的な知識・技能や高いコーチング能力に加え、コミュニケーションスキルの習得など、多様なニーズに的確に対応できる指導者の養成・確保、競技団体及び中体連・高体連と連携した少年種別の継続した強化支援等により、競技力の向上やトップアスリートの育成に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
オリンピック・パラリンピック競技大会、国際大会で活躍できる選手を輩出するため、トップアスリートの育成・強化に対する支援を行う。	県、県スポーツ協会、競技団体	オリンピック・パラリンピック競技大会、国際大会で活躍できる選手を輩出するため、トップアスリート育成、強化の支援		
		トップレベル選手育成事業の優秀選手奨励金対象選手数(累計)		
		19人	19人(38人)	19人(57人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 競技力向上対策事業費				予算事業名 競技力向上対策事業費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	61,098	70,161	県単等	補助	71,211
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
競技力向上対策事業の「トップレベルの選手育成事業」において、世界レベルの大会で活躍する県出身トップアスリートの育成強化を図った。				競技力向上対策事業の「トップレベルの選手育成事業」において、世界レベルの大会で活躍する県出身トップアスリートの育成強化を図る。		

活動指標名	トップレベル選手育成事業の優秀選手奨励金対象選手数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	15人	13人	17人(30人)	19人(38人)	89.5%	概ね順調	競技力向上対策事業の「トップレベルの選手育成事業」において、世界レベルの大会で活躍する県出身トップアスリートの育成強化を図った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>世界選手権等の国際大会に出場する本県出身の日本代表選手17名(8競技)に対して、奨励金を交付して支援を行った。国際大会等の出場については国内予選の結果等に影響されるが、89.5%の達成率については、選手の育成支援につながっていると判断できる。関連事業の活用と対象選手の選定を行うことにより、目標値の達成が期待できる。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競技団体との意見交換や、競技力向上対策委員会において十分な連携・検討を行い、より効果的な支援ができるように取り組む。</li> <li>○ 競技団体に対し、競技力向上対策事業の活用を促すとともに優秀選手奨励事業の周知を図る。また、競技力向上対策委員会においてより効果的な支援策について検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競技力向上対策委員会において、ワールドクラスアスリート育成事業の補助対象者を見直し、一般選手から中高生まで幅広く支援できる内容とした。</li> <li>○ 沖縄県スポーツ協会から競技団体に対し、優秀選手奨励事業の活用を周知するとともに、トップレベル選手育成に関連する企画提案型競技力向上対策事業やワールドクラスアスリート育成事業の活用についても周知を行った。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	世界大会等に出場した実績に基づく支援となっているため、大会に出場(選考)するまでのプロセスに対する支援の拡充が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	ワールドクラスアスリート育成事業の要項改定による支援とあわせて、ジュニアアスリートの発掘や育成に係る中長期的な事業を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	②県民の競技力向上・スポーツ活動の推進
			施策の小項目名	○競技力の向上やトップアスリートの育成
主な取組	指導者対策事業		対応する成果指標	県出身日本代表スポーツ選手累計 (国際大会)
施策の方向	<p>・ 県外チームの招聘や県外での強化試合の推進、コーチ等の招聘、専門的な知識・技能や高いコーチング能力に加え、コミュニケーションスキルの習得など、多様なニーズに的確に対応できる指導者の養成・確保、競技団体及び中体連・高体連と連携した少年種別の継続した強化支援等により、競技力の向上やトップアスリートの育成に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄県中学校体育連盟、沖縄県高等学校体育連盟、沖縄県スポーツ協会(加盟競技団体)の三者により、実践研究発表、講演会等を行い指導者の資質向上をはかる。</p>	<p>県,県スポーツ協会,中体連,高体連</p>	指導力の向上、人権意識の高揚等バランスのとれた指導者の養成、確保の支援		
		沖縄県体育スポーツ・実践研究大会参加人数(累計)		
		150人	150人(300人)	150人(450人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	競技力向上対策事業費			予算事業名	競技力向上対策事業費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	61,098	70,161	県単等	補助	71,211
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>沖縄県スポーツ協会と提携している朝日大学の講演のほか、中体連や高体連の調査研究報告、競技団体の実践報告を行った。</p>				<p>県内外、国内外で活躍するスポーツ関係者を招いての講演のほか、中体連や高体連の調査研究報告、競技団体の実践報告を予定している。</p>		

活動指標名	沖縄県体育スポーツ・実践研究大会参加人数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		-人	127人	87人 (214人)	150人 (300人)	58.0%	大幅遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

研修会参加者数が87名にとどまり、目標値に対して58.0%の達成率となった。主な要因としては、参加対象となる指導者に教職員が多く、成績処理業務などの繁忙期に研究大会が開催されたことやオンライン等での配信を行わなかったことにより、参加者数が伸びなかったと考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>研究発表大会参加者の要望を踏まえ、開催時期や周知活動、グループ協議の実施など、充実した大会となるよう、開催内容を検討する。</p>	<p>大会参加者の要望を踏まえた実施形態については、実践発表団体も確定し、実践研究を進めていた状況もあり具体的な調整はできなかった。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	主催団体(中体連、高体連、県スポーツ協会)において、指導者(主に教職員)が参加しやすい日程や開催方法を検討する必要がある。	② 連携の強化・改善	主催団体(中体連、高体連、県スポーツ協会)において、指導者(主に教職員)が参加しやすい日程や開催方法(オンライン配信やオンデマンド配信などを含む)を検討し、実施内容の周知を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○生涯スポーツ社会の実現
主な取組	総合型スポーツクラブの創設・育成		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域スポーツ環境を充実させ、県民の運動・スポーツをする機会創出を図り、生涯スポーツ社会の実現に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
生涯スポーツ社会実現を目指す国のスポーツ振興基本計画に基づき、沖縄県では平成21年8月に沖縄県広域スポーツセンターが設置された。沖縄県広域スポーツセンターにおいて、総合型地域スポーツクラブの創設・育成をはじめ運営や活動、地域スポーツクラブ指導者の養成・確保等に関する支援を行う。	県	総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援		
		総合型地域スポーツクラブ数(内訳)		
		63クラブ(新規1クラブ、継続62クラブ、累計63クラブ)	64クラブ(新規1クラブ、継続63クラブ、累計64クラブ)	65クラブ(新規1クラブ、継続64クラブ、累計65クラブ)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/sports/shinko/kouiki2.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/sports/shinko/kouiki2.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	広域スポーツセンター事業費			予算事業名	広域スポーツセンター事業費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	3,059	2,352	県単等	直接実施	2,317
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
クラブ創設及び育成支援のため、クラブ訪問を通じた助言・指導、登録認証制度の登録促進、クラブ研修会の開催及び市町村訪問を実施した。				クラブ訪問を通じたクラブへの助言・指導、登録認証制度の登録促進を図る。クラブ研修会及び市町村担当者会議、市町村訪問を実施する。		

活動指標名	総合型地域スポーツクラブ数 (内訳)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	63クラブ	63クラブ	63クラブ(新規0クラブ、継続63クラブ、累計63クラブ)	64クラブ(新規1クラブ、継続63クラブ、累計64クラブ)	98.4%	順調	幅広い世代の人々が興味や競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブである総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援するため助言指導、登録認証制度の周知を実施。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

クラブ訪問を通じた助言・指導、市町村担当者・クラブを対象に総合型地域スポーツクラブ研修会を実施した(3クラブ16市町村合計38名参加)。令和5年度の総合型地域スポーツクラブ育成数は63クラブで、計画値である64クラブまで1クラブ足りていない。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域における総合型クラブの位置づけを明確にし、地域とともに活発に活動していける環境整備を図るため、引き続き市町村や関係団体等との連携を図っていく必要がある。</li> <li>○ クラブ訪問等を通して、規模の縮小を強いられているクラブに対して行政との連携や情報発信の方法など助言・指導を行っていく。</li> <li>○ 登録クラブが活用することのできる助成事業などの充実を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合型地域スポーツクラブ研修会と市町村担当者連絡会議を開催し、行政とクラブの連携について講演を行った。</li> <li>○ クラブ訪問および市町村訪問を通してクラブの活動・運営について助言指導を行った。</li> <li>○ クラブ訪問を通して登録認証制度の説明を行った。また、登録認証制度の制度説明・申請方法をまとめたパンフレットを作成した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	地域課題の解決のための総合型クラブと市町村や関係団体等との連携が十分とは言えない状況である。	② 連携の強化・改善	総合型地域スポーツクラブ研修会および市町村担当者連絡会議を開催し、引き続き連携強化を図る。
③ 他地域等との比較 (内部要因)	依然として会員の確保、運営等において課題を抱えているクラブが多い状況である。	② 連携の強化・改善	クラブ訪問においてクラブへ課題のヒアリングを行う。また、クラブ交流会を開催しクラブ同士のつながりの形成を図る。
③ 他地域等との比較 (内部要因)	登録認証制度に加盟するメリットや方法等が十分に認知されているとは言えない状況である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	クラブ訪問や電話相談における登録認証制度にかかる周知活動を継続して行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○生涯スポーツ社会の実現
主な取組	クラブアドバイザーによる総合型地域スポーツクラブへの支援		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域スポーツ環境を充実させ、県民の運動・スポーツをする機会創出を図り、生涯スポーツ社会の実現に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
生涯スポーツ社会実現を目指す国のスポーツ振興基本計画に基づき、沖縄県では平成21年8月に沖縄県広域スポーツセンターが設置された。沖縄県広域スポーツセンターにおいて、総合型地域スポーツクラブの創設・育成をはじめ運営や活動、地域スポーツクラブ指導者の養成・確保等に関する支援を行う。	県、県スポーツ協会	クラブアドバイザーによる助言・指導の実施		
		クラブアドバイザーによる助言・指導の実施回数(累計)		
		25回	30回(55回)	30回(85回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/sports/shinko/kouiki2.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/sports/shinko/kouiki2.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	クラブアドバイザー業務委託			予算事業名	クラブアドバイザー業務委託	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	1,765	2,266	県単等	委託	2,212
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
クラブ訪問を通じたクラブへの助言・指導、登録認証制度の周知等を行った。クラブ指導者育成としてアシスタントマネージャー養成講習会を開催した。				クラブ訪問を通じたクラブの質的向上、登録認証制度の周知を行う。クラブ指導者育成としてアシスタントマネージャー講習会を開催する。		

活動指標名	クラブアドバイザーによる助言・指導の実施回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	25回	19回	30回 (49回)	30回 (55回)	100.0%	順調	幅広い世代の人々が興味や競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブである総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援するため助言指導、登録認証制度の周知を実施。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

クラブアドバイザーによる助言・指導の実施30回 (クラブ訪問20回、市町村訪問10回)、総合型地域スポーツクラブ研修会を開催 (38名参加) した。計画的にクラブ訪問及び市町村訪問を行うことが出来た。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域における総合型クラブの位置づけを明確にし、地域とともに活発に活動していける環境整備を図るため、引き続き市町村や関係団体等との連携を図っていく必要がある。</li> <li>○ クラブ訪問等を通して、規模の縮小を強いられているクラブに対して行政との連携や情報発信の方法など助言・指導を行っていく。</li> <li>○ 登録クラブが活用することのできる助成事業などの充実を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合型地域スポーツクラブ研修会と市町村担当者連絡会議を開催し、行政とクラブの連携について講演を行った。</li> <li>○ クラブ訪問および市町村訪問を通してクラブの活動・運営について助言指導を行った。</li> <li>○ クラブ訪問を通して登録認証制度の説明を行った。また、登録認証制度の制度説明・申請方法をまとめたパンフレットを作成した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	地域課題の解決のための総合型クラブと市町村や関係団体等との連携が十分とは言えない状況である。	② 連携の強化・改善	総合型地域スポーツクラブ研修会および市町村担当者連絡会議を開催し、引き続き連携強化を図る。
③ 他地域等との比較 (内部要因)	依然として会員の確保、運営等において課題を抱えているクラブが多い状況である。	② 連携の強化・改善	クラブ訪問においてクラブへ課題のヒアリングを行う。また、クラブ交流会を開催しクラブ同士のつながりの形成を図る。
③ 他地域等との比較 (内部要因)	登録認証制度に加盟するメリットや方法等が十分に認知されているとは言えない状況である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	クラブ訪問や電話相談における登録認証制度にかかる周知活動を継続して行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○広くスポーツ・レクリエーションに参画できる環境の構築
主な取組	女性のライフステージに応じたスポーツ参加の促進		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・市町村、スポーツ・レクリエーション関連団体等と連携しながら、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、様々な世代や個人が持つ多様性に応じて、広くスポーツ・レクリエーションに参画できる環境の構築、スポーツ・レクリエーション参加の機会拡充に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
女性のスポーツに対するイメージを変え、楽しさをきっかけに参加できるような取組を推進する。	県	女性のスポーツ参加の促進		
		女性のスポーツ実施率		
		56.5%	57.0%	57.5%
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	社会体育活動支援事業費			予算事業名	社会体育活動支援事業費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	3,235	3,053	県単等	委託	4,060
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
9月から12月にかけて、県民に身近にスポーツを親しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭(26種目)を開催した。				スポーツへの関心と意欲を高めるため、引き続き沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を実施する。		

活動指標名	女性のスポーツ実施率		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	54.3%	44.9%	41.8%	57.0%	73.3%	やや遅れ	身近にスポーツを親しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭(26種目)を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

スポーツ実施率調査によると、女性がスポーツを実施しなかった理由として、「仕事や家事が忙しいから」が一番多く、「面倒くさいから」「子どもに手がかかるから」「運動・スポーツが嫌いだから」との理由は男性よりも高く、目標値の達成に至っていない。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 女性をターゲットに、スポーツに対するイメージを変え、楽しさをきっかけに気軽に参加できるような種目を取り入れた体験型での開催を検討し、関係機関とも連携しながら女性のスポーツへの参加を促す。	○ 気軽に様々なスポーツを楽しむ機会を提供するため、沖縄県スポーツ協会及び沖縄県レクリエーション協会と連携しながら、スポーツ・レクリエーション祭を開催した。 ○ 県立社会体育施設の指定管理者による自主事業として、スポーツ実施率の低い層に着目しながら、スポーツ・レクリエーション教室の拡充に努めた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	スポーツ実施率調査における女性がスポーツを実施しなかった理由を踏まえ、よりスポーツ参加しやすい開催方法を検討する必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	スポーツ・レクリエーション祭やスポーツ・レクリエーション教室において、女性がより気軽に多くの競技に触れることができるような開催方法を検討し、女性のスポーツ参加を促す。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○広くスポーツ・レクリエーションに参画できる環境の構築
主な取組	高齢者の体力や健康状態に応じたスポーツ参加の促進		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・市町村、スポーツ・レクリエーション関連団体等と連携しながら、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、様々な世代や個人が持つ多様性に応じて、広くスポーツ・レクリエーションに参画できる環境の構築、スポーツ・レクリエーション参加の機会拡充に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県レクリエーション協会等の関係機関との連携を図り、高齢者が体力や健康状態に応じたスポーツ・レクリエーションに親しむことのできる環境づくりを行う。	県	高齢者のスポーツ参加の促進		
		高齢者のスポーツ実施率		
		69.0%	69.5%	70.0%
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名 社会体育活動支援事業費				予算事業名 社会体育活動支援事業費			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	3,235	3,053	県単等	委託	4,060	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
9月から12月にかけて、県民に身近にスポーツを親しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭(26種目)を開催した。				スポーツへの関心と意識を高めるため、引き続き沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を実施する。			
活動指標名	高齢者のスポーツ実施率		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		65.4%	66.9%	70.3%	69.5%	100.0%	順調
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
沖縄県スポーツ・レクリエーション祭では、体操やゲートボールなど高齢者でも参加しやすい種目を開催しており、目標値を達成している。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
○ 高齢者が体力や健康状態に応じたスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、沖縄県レクリエーション協会等との連携を強化し、引き続き沖縄県スポーツ・レクリエーション祭の開催に取り組む。				○ 沖縄県スポーツ協会及び沖縄県レクリエーション協会と連携しながら、スポーツ・レクリエーション祭を開催し、高齢者も気軽に様々なスポーツを楽しむ機会を提供した。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	スポーツ実施率調査において、高齢者(60歳以上)は「コロナウイルス感染症対策により日常生活が変化した」「面倒くさい」との理由からスポーツの実施に至っていない割合が高くなっている。	② 連携の強化・改善	高齢者も気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できるよう、沖縄県レクリエーション協会等との連携を強化し、引き続き沖縄県スポーツ・レクリエーション祭の開催に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの推進と県民がスポーツをする機会の充実
主な取組	スポーツコンベンションへの県民参加促進		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	<p>・スポーツコンベンションの推進と県民がスポーツをする機会の充実をバランスよく進めることができるよう、スポーツを活用した施策として、地域外からの交流人口の拡大を推進するアウトター施策と地域住民向けの健康維持増進や共生社会等の実現を推進するインナー施策の双方に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
Sports Islands OkinawaブランドによるSNS、HP等を通じたスポーツコンベンションの推進と県民のスポーツ参加機会の拡充に取り組む。	県,市町村	Sports Islands OkinawaブランドによるSNS、HP等を通じたスポーツコンベンションの推進と県民のスポーツ参加機会の拡充		
		スポーツコンベンション県内参加者数(累計)		
		97,432人	100,000人(197,432人)	110,000人(307,432人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	<a href="https://okinawasportsisland.jp/">https://okinawasportsisland.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>県民のスポーツ参加の機会拡充として、既存の沖縄県主催のスポーツイベントへの参加促進も含め取組の具体化に向けた検討を行う。</p>				<p>引き続きスポーツコンベンションの受入促進や誘致にかかる取組と合わせて、県民の参加促進に向けた取組を検討する。</p>		

活動指標名	スポーツコンベンション県内参加者数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		11,147人	46,198人	62,211人	100,000人 (197,432人)	62.2%	やや遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

スポーツコンベンション県内参加者数については、目標値の約6割でやや遅れとなっているものの、スポーツコンベンション件数はコロナ禍前である令和元年度比104%と回復してきているため、参加促進の取組を推進することで、参加者数についても今後回復が見込まれる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 県主催の沖縄県スポーツ・レクリエーション祭において誰でも気軽に参加できる種目を取り入れた体験型での開催とともにその他スポーツコンベンションへの参加促進に向けた具体的な取組も検討する。	○ 県民に身近にスポーツを親しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭(26種目)を開催するとともに、その他スポーツコンベンションへの参加促進に向けた取組を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	スポーツコンベンションの受入促進や誘致に係る取組から重点的に取り組んできたため、県民のスポーツコンベンションへの参加を重視した予算措置や取組が不足している。	① 執行体制の改善	誰でも気軽に参加できる種目を取り入れた体験型のスポーツ・レクリエーション祭の開催方法や、その他スポーツコンベンションへの参加促進に向けた取組を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの推進と県民がスポーツをする機会の充実
主な取組	県民の誰もがスポーツに親しむことができる機会の創出		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	<p>・スポーツコンベンションの推進と県民がスポーツをする機会の充実をバランスよく進めることができるよう、スポーツを活用した施策として、地域外からの交流人口の拡大を推進するアウトナー施策と地域住民向けの健康維持増進や共生社会等の実現を推進するインナー施策の双方に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民の健康な身体の育成・保持増進のため、スポーツ・レクリエーション祭を開催し、スポーツ実施機会の増加を図る。	県	スポーツ・レクリエーション祭の開催		
		スポーツ・レクリエーション祭参加者数(累計)		
		8,500人	9,000人(17,500人)	9,500人(27,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)																										
<table border="1"> <tr> <th colspan="4">予算事業名 社会体育活動支援事業費</th> </tr> <tr> <th>主な財源</th> <th>実施方法</th> <th>R4年度 決算額</th> <th>R5年度 決算見込額</th> </tr> <tr> <td>県単等</td> <td>委託</td> <td>3,235</td> <td>3,053</td> </tr> </table>				予算事業名 社会体育活動支援事業費				主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	県単等	委託	3,235	3,053	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">予算事業名 社会体育活動支援事業費</th> </tr> <tr> <th colspan="3">R6年度</th> </tr> <tr> <th>主な財源</th> <th>実施方法</th> <th>当初予算額</th> </tr> <tr> <td>県単等</td> <td>委託</td> <td>4,060</td> </tr> </table>			予算事業名 社会体育活動支援事業費			R6年度			主な財源	実施方法	当初予算額	県単等	委託	4,060
予算事業名 社会体育活動支援事業費																														
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額																											
県単等	委託	3,235	3,053																											
予算事業名 社会体育活動支援事業費																														
R6年度																														
主な財源	実施方法	当初予算額																												
県単等	委託	4,060																												
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画																										
<p>9月から12月にかけて、県民に身近にスポーツを楽しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭（26種目）を開催した。</p>				<p>県民のスポーツへの関心と意欲を高めるため、引き続き沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を実施する。</p>																										
活動指標名	スポーツ・レクリエーション祭 参加者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要																							
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B																									
	コロナの影響により中止	3,859人	4,711人 (8,570人)	9,000人 (17,500人)	52.3%	大幅遅れ	9月から12月にかけて、県民に身近にスポーツを楽しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭（26種目）を開催した。																							
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果																														
<p>沖縄県スポーツ・レクリエーション祭について、コロナ禍以前は約40種目で開催されていたところ、コロナ禍が明けた令和5年度でも26種目の開催にとどまっている。小規模の団体や大会にとってはコロナ禍による中止の影響（主催団体の一時的な解散等）がより大きく、参加者数は目標値に対して大幅に進捗が遅れる状況となっている。</p>																														
(2) これまでの改善案の反映状況																														
令和5年度の取組改善案				反映状況																										
<p>○ 誰でも気軽に参加できる種目を取り入れた体験型での開催を検討し、県民のスポーツ活動への参加を促す。</p>				<p>○ 誰でも参加できるモーターパラグライダー体験会やスポーツ・レクリエーションなど、体験型の種目も開催し、県民のスポーツ参加の機会を提供した。</p>																										

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症の影響も収束したことを踏まえ、目標の達成に向け、より多くの県民の参加に繋がる開催方法を検討する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	県民の誰もがより気軽に多くの競技に触れることができるよう、複数種目の同一日程・同一会場での開催や体験型を主とした開催など、より多くの県民の参加に繋がる開催方法を検討する。
⑦ その他(改善余地の検証等)	より多くの県民参加に繋がるよう、事業の認知度を高めるため、取組内容や開催時期等の周知方法を工夫する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	沖縄県スポーツ協会等の関係機関と連携し、SNSなど新たな手段による情報発信の強化に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○スポーツ・レクリエーションを通じた健康維持増進
主な取組	県立社会体育施設におけるスポーツ・レクリエーション教室の開催		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・生活習慣病や肥満の予防など県民の健康寿命の延伸のため、スポーツ・レクリエーションを通じた健康維持増進に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、生涯スポーツ社会の実現と競技スポーツの振興を図るため、奥武山総合運動場において指定管理者制度を導入し、スポーツ・レクリエーション教室を開催する。	県,指定管理者	スポーツ・レクリエーション教室の開催		
		スポーツ・レクリエーション教室の開催件数(累計)		
		60件	65件(125件)	70件(195件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	<a href="http://www.ounoyama.jp/">http://www.ounoyama.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	社会体育施設管理運営費			予算事業名	社会体育施設管理運営費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	181,600	182,400	県単等	委託	183,700
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
指定管理者による自主事業として、バドミントンなど複数の定期教室を開催するほか、エアボクシングなど体験型の教室も開催した。				引き続き指定管理者と連携し、スポーツ実施率の低い層をターゲットとした体験型のイベントなども検討する。		
活動指標名	スポーツ・レクリエーション教室の開催件数(累計)	R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)		
	32件	71件	120件(191件)	65件(125件)	100.0%	順調
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果						
65件の開催目標に対して120件の開催となり、目標値を大きく上回った。また、これからスポーツをはじめたいと考えている人を対象としたスポーツ教室では、参加者から定期的な開催の要望があるなど、スポーツ実施率の向上に寄与している。						
(2) これまでの改善案の反映状況						
令和5年度の取組改善案				反映状況		
参加者からの改善要望も踏まえて継続した開催ができるよう指定管理者との連携を強化し、引き続きアンケートによる参加者のニーズの把握にも努める。				昨年度に実施したスポーツ教室を継続しながら、利用者からのニーズを踏まえた新たな体験型の教室も開催し、参加者へのアンケート調査も実施した。		

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	指定管理者と連携し、スポーツ実施率の低い層のニーズを踏まえたスポーツ・レクリエーション教室の種目や開催方法を検討する必要がある。	② 連携の強化・改善	スポーツ実施率調査をもとに実施率の低い層からのニーズを洗い出し、引き続き指定管理者との連携を強化しながらターゲットを絞った企画に取り組む。